

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	観光交流課
	施策	国際・国内交流の推進		電話番号	087-839-2416
	基本事業	国内交流の推進		事業実施主体	市
	事務事業	姉妹城都市等観光交流事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市と姉妹城都市や親善都市等の都市提携を結んでいる都市との観光と物産展を開催する。			
年度概要	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加、観光と物産展の参加・開催			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	本市及び提携都市の市民
意図（どのような状態にしたいか）	観光と物産展の開催を通して、特産品や観光のPRと都市間の友好親善を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
観光と物産展（高松市主催を除く）開催日	日	0	0	4	18	18
観光と物産展（高松市主催）開催日数	日	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
交流イベント等開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	0	0	2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となっていた物産展を本市で開催するとともに、ひこねの城まつりにも参加し、本市の特産品や観光をPRすることができた。 交流イベント等開催回数 実績値 2回（目標値 3回）			(目標達成度) (達成度) 66.7% 23点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,960	7,030	8,210	8,882
（事業費）	[円]	2	8	1,250	1,922
（職員人件費）	[円]	6,958	7,022	6,960	6,960

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となっていた観光と物産展を本市で開催するとともに、ひこねの城まつりに参加し、本市の特産品と観光のPRを実施することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
提携都市との友好交流や特産品をPRするため、継続的に、観光と物産展の開催やブース出展を実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	国際・国内交流の推進と定住の促進		課(室)名	都市交流室
	施策	国際・国内交流の推進		電話番号	087-839-2197
	基本事業	国内交流の推進		事業実施主体	市
	事務事業	国内交流推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市国分寺地域と「歴史文化交流協定」を締結している下野市との交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、貴重な文化資産を有する両地域の住民等による多彩な地域間交流を促進し、人がにぎわい、活力あるまちづくりを進める。		
5年度概要	提携都市との交流事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市国分寺地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	貴重な文化資産を有する両地域（高松市国分寺地域、下野市）の住民等による多彩な地域間交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
交流事業開催数	回	0	1	2	2	2

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
交流事業参加者数	人	目標値	220	370	380	400	400
		実績値	0	35	111		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の提携都市との相互訪問による交流事業を、人数制限を設けて実施したことから、交流事業参加者数は前年度より増加したものの、目標を達成することができなかった。 交流事業参加者数 実績 111人（目標 380人）			(目標達成度) (達成度) 29.2% 10点				
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	3,741	3,775	4,242	4,355
（事業費）	[円]	0	0	500	613
（職員人件費）	[円]	3,741	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、予定していた国内交流事業の相互訪問は、人数を制限しながらも実施することができた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
国内の他都市との交流は、互いの地域の活性化に繋がることから、継続実施することが適当である。			